

第42回全日本実業柔道個人選手権大会戦評  
(主に当連盟加盟チーム選手を中心)

男子22歳未満

男子22歳未満の部は、一昨年の第3位、昨年の準優勝の小林が初優勝。

優勝した新日本製鐵・広畑の小林真也2段は、得意の寝技で対戦相手を翻弄し順当に勝ち上がる。

準優勝した別府刑務所の安本は、寝技によるオール一本勝で準決勝戦に進出し、箱田駿2段(ALSOK群馬総合ガードシステム)と激しい攻防の末、有効2本を奪って決勝戦に進む。

第3位入賞の和久田裕人2段(東レ・滋賀)は、巨体を利してオール一本勝で勝ち進み、準決勝戦に進出。

準決勝戦第1試合

2小林 真也② (指導2) 2和久田 裕人  
(新日本製鐵・広畑) (東レ滋賀)

右組みの長身小林は左手で引手を絞る。体重140kgの巨漢の和久田は右半身の体勢から左背負投などを試みる。1分40秒にお互いにしっかり組合わないとして両者に指導。その後、小林が攻勢に転じ、右内股から寝技に、また、右小外掛を掛けたところで、3分40秒、守勢の和久田に2つ目の指導。そのまま時間。

準決勝戦第2試合

2安本 一貴② (優勢勝) 2箱田 駿  
(別府刑務所) (ALSOK群馬総合ガードシステム)

決勝戦

2小林 真也○ 肩固 2安本 一貴  
(新日本製鐵・広畑) (別府刑務所)

共に右組みの両者。暫し組手争いを経た30秒過ぎ、安本が掛け逃げ気味に右袖釣込腰に入るところを小林が押しつぶす。小林は伏せた安本を巧みに裏返して、47秒肩固で抑え込む。安本は懸命に逃れようとするも、首を極められ動けず時間。